

長岡地区納税貯蓄組合連合会長賞 優秀

税金によって成り立つ暮らし

長岡市立宮内中学校

三年 竹見 萌亜

私が店で買い物や食事をする時、その商品やサービスに対して「消費税」という税金がかかる。なぜそんなにお金を支払うのだろうか？徐々に消費税が高くなっているとも聞いた。少し嫌だなと思ってしまふ税金。今回、改めて税金について考えてみた。

まず、今私が置かれている中学生という立場。国民の三大義務の一つに、「教育を受ける義務」がある。当たり前のように小学校からの九年間、学校に通うことができたのは、税金から「教育費」として使われているためであった。全ての子どもが平等に、整備された学校内で、勉強や部活ができる権利を持てるということは、幸せなことである。

次に私が不安なく健康に毎日を過ごせるために、「医療費」にも税金が使われている。私の住んでいる長岡市では、中学三年生まで通院・入院共に、自己負担額を助成されている。子どもの傷病の早期発見を促進し、子育て世帯への経済的負担を軽減する目的で行われていると知り、国民の健康的な暮らしに大きく役立っている。

また、「公共サービス」にも税金が使われている。もし公共サービスがなくなると、家庭から毎日のように出されているゴミ。そのゴミ収集が有料になってしまったり、公園を利用したり、緊急時の救急車両の出動にも料金が発生してしまう。今まで気にせず利用していたものにも、知らないうちに多くの税金が使われていたのだ。

自分が直接支払うもので、消費税は知っていたが、税金について調べていくうちに、所得税・住民税・法人税・酒税・たばこ税・自動車税等と国民が生活していくうえで、人は多くの税金を支払っていることも分かった。しかし今は、それが人々が生活するために必要なことであるということを理解することができた。

十五年前、私が住んでいたイギリスでは、消費税が十七%であったと聞いた。しかし、イギリスでは生涯にわたり医療費が無料であった。今現在、日本の消費税は八%。年齢等によるが、自己負担額七割九割で手厚い医療を受けることができる。だが今後、日本は超高齢化社会が予想され、増加する高齢人口の問題に対応することが重要な課題となっていく。従来の医療制度では対応しきれない問題が生じると考えられるため、財源の確保が必要である。

今、私達が恩恵を受けている税金。これにより私達の生活への様々な使われ方が分かった。未来へつなぐ日本のため、これからの私達にできる「納税の義務」を利用し、全ての人々が平等に健康的でより良い暮らしができるよう、国民の一人としての責任を果たしていきたい。